

平成 29 年度 農産物等研究専門部会 実施計画（案）について

検討事項

（1）今年度の取り組みについて

- ・全体スケジュールの確認
- ・各取り組みの実施内容等の確認
- ・拡充したい取り組みの検討

（2）今後の予定について

（3）その他

農-1 大学と農家の意見交換会（地域連携による農産物づくりの検討等）

計 画

概要・目的		概要 <ul style="list-style-type: none"> ・地元農業者を対象に、明治大学黒川農場の見学会を実施し、大学の教職員に施設や大学の取り組み、研究内容等について紹介を行う。 ・大学と地元農業者の相互の取り組みに関する情報交換を行い、今後の黒川地域の野菜づくり等への連携につなげる。
		目的 【地域交流】 明治大学黒川農場での取り組み等を紹介してもらう見学会を実施し、地元農業者と大学関係者の交流を深める。 【地域連携の強化】 黒川産の農産物の販売促進のため、地元農業者と大学が新規農産物や郷土農産物の栽培方法等について情報交換する機会を設け、地域連携の体制を強化していく。
実施体制、対象者等		対 象：地元農業者、明治大学 事務局：川崎市農地課
実施内容	実施予定日	未定
	実施場所	明治大学黒川農場
	周知・PR	—
	内容	①明治大学黒川農場の施設紹介 ・黒川農場の施設を紹介。 ②研究活動内容や研究成果の紹介 ・黒川農場で行っている研究や取り組みの紹介 ③明治大学教員と地元農業者による意見交換 ・今後の、農産物等の生産に関する連携等について
	予算等	—
その他		・今後も大学と農家の意見交換の場を検討してく。

農-2 アスパラガスの新たな栽培方法「採りつきり栽培」の実施 (地域連携による農特産物づくりの検討等)

計 画

概要・目的		<p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規ホーラーを使用し、一作で採りきる「採りつきり栽培」の展示ほ場を作り、栽培講習会を行うなどし、新たな特産物・収穫体験としての可能性を検討する。 <p>目的</p> <p>【地域交流】明治大学の研究成果を活かしながら、大学と地元農業者の交流を深める。</p> <p>【地域連携の強化】地元農業者と大学が農産物の新たな栽培方法等について情報交換する機会を設け、地域連携の体制を強化していく。</p>
実施体制、対象者等		<p>対 象：地元農業者、明治大学</p> <p>事務局：川崎市農地課</p>
実施内容	実施（予定）日	<p>平成 29 年 巡回検討会 4月13日、6月6日、7月10日 実施</p> <p>平成 29 年 病害虫講習会 6月6日実施済み</p> <p>平成 29 年 栽培（育苗）講習会 11月（予定）</p> <p>平成 30 年 収穫物（目揃え会）講習会 2月（予定）</p>
	実施場所	黒川地区全域（展示ほ場：黒川上地区）
	周知・PR	黒川生産支部回覧板
	内容	<p>①栽培講習会の実施</p> <p>②見本畑設置、栽培実習の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒川地区に見本畑を設置し、栽培を実習できる機会を設ける。 ・アスパラガスの苗を地元農業者に配布する。
	予算等	—
その他		—

昨年度の取り組み

実施概	実施日時	平成 28 年 12 月 27 日、平成 29 年 1 月 26 日、3 月 15 日
	実施場所	黒川地区全域（展示ほ場：黒川上地区）
	参加者数	
実施状況 (写真等)	<p>平成 28 年 12 月 27 日 明大生田校舎ほ場見学(黒川農業者 4 人参加) アスパラの生育状況を確認した。 明大農学部 元木悟准教授対応</p>	
	<p>平成 29 年 1 月 26 日 栽培講習会 (黒川農業者 19 人、関係者 12 人参加) 講師 元木悟(明大農学部准教授)、大学院学生 川崎智弘(種苗会社担当)、 岩淵裕樹(川崎市農業技術支援センター)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	
	<p>平成 29 年 3 月 15 日 展示ほ場設置、定植講習会、 苗配布(農業者 17 人、2,270 株)</p>	
主催者や参加者の声 (主な意見、感想)	<ul style="list-style-type: none"> ・黒川地区に展示ほ場が設置されたため、実際に栽培方法が確認できるのは良かった。 ・苗を配布してくれるので、取り組みやすかった。 ・採りつきり栽培だけでなく、キャベツの品種比較試験等他の野菜の話しが聞けて良かった。 ・アスパラガスを産地化するのであれば、今回限りでなく、数年は継続して苗の供給をしてもらいたい。 	
評価と今後の進め方 等 (専門部会での検討事項)	<p>来年 3 月～4 月の収穫に向けて技術指導を行う。また、展示ほ場を中心に黒川の農業者向け技術講習会や視察などを開催する。</p>	
その他	<p>黒川生産支部との共同開催</p>	

農-3 農産物に関する講習会の開催

計 画

概要・目的		<p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品種比較、土づくり、防除等栽培に役立つ講習会を、大学と連携して開催する。 <p>目的</p> <ul style="list-style-type: none"> 【地域交流】明治大学の研究成果を活かしながら、大学と地元農業者の交流を深める。 【環境保全】農薬を効果的に使う方法を学ぶことで、環境にやさしい農業の実現を目指す。
実施体制、対象者等		<p>対 象：地元農業者、明治大学</p> <p>事務局：川崎市農地課</p>
実施内容	実施予定日	平成 30 年 1 月頃
	実施場所	明治大学黒川農場
	周知・PR	—
	内容	①講習会の開催
	予算等	—
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・今後も内容を検討して、講習会を実施する。

農-4 地元農業者との農産加工品等に関する検討

計 画

概要・目的		<p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元農業者等を対象に、農産加工品開発及び販売に向け、意見交換会や講習会等を行う。 ・黒川地域の加工品を PR する。 <p>目的</p> <p>【地域交流】明治大学の研究成果を活かしながら、大学と地元農業者の交流を深める。</p> <p>【黒川産商品開発】黒川地域の活性化に向けて、黒川産の農産加工品の開発を検討する。</p>
実施体制、対象者等		<p>対象：地元農業者、明治大学 協力：神奈川県、セレスモス 事務局：川崎市農地課</p>
実施内容	実施予定日	11月11日（土）収穫祭 加工品のPR
	実施場所	明治大学黒川農場
	周知・PR	—
	内容	<p>農産物の加工品について全国的に優れた技術を持っている明治大学黒川農場の客員教授である小清水先生と地元農業者との意見交換を実施する。また、黒川産野菜で作った加工品について、セレスモスと連携しながら収穫祭でPRする。</p> <p>①現在の黒川産の農産加工品について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒川産の農産加工品の現状や課題等に関する意見交換やPRの実施。 <p>②今後の開発の可能性やメニューについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の農産物加工品の開発の可能性や、やってみたいメニューについて意見交換し、試作の検討。 <p>③今後について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の進め方等に関する意見交換
	予算等	—
その他		—

農-5 黒川野菜・果物等のPR（農家による黒川野菜の直売の実施）

計 画

概要・目的		<p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 明治大学黒川農場の収穫祭で、大学と地元農業者が連携して野菜を販売し、黒川産の農産物のPRを行う。 <p>目的</p> <p>【黒川農産物のPR】黒川地域の活性化に向けて、黒川産の新鮮な農産物をPRし、販売促進につなげる。</p> <p>【地域交流】農家と直接お話しをしながら、野菜を買いだいたいという意見が前回の収穫祭ででていたため、地元農業者が直接販売する機会を創ることで、市民と地元農業者との交流を図る。</p>		
実施体制、対象者等		<p>主催：地元農業者 協力：明治大学 対象：明治大学黒川農場収穫祭の来場者 事務局：川崎市農地課</p>		
実施内容	実施予定日	平成 29 年 11 月 11 日（土）収穫祭		
	実施場所	明治大学黒川農場		
	周知・PR	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市政だより、HP等 ・ 明治大学収穫祭告知チラシ、HP等 ・ HP等 		
	内容	<p>収穫祭にて「農家さんの黒川産農産物の直売所」として、地元農業者による来場者への直接販売</p> <p>■ 農産物の種類（案）昨年度実績</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ ダイコン ・ キュウリ ・ ピーマン ・ 万願寺トウガラシ ・ 甘長トウガラシ ・ コマツナ ・ ハクサイのぬき菜 </td> <td style="width: 50%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ サトイモ ・ カキ ・ 本ユズ ・ キウイフルーツ ・ たまご ・ お米 </td> </tr> </table> <p>（平成 27 年度：14 品目 660 点） （平成 28 年度：13 品目 300 点以上）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ダイコン ・ キュウリ ・ ピーマン ・ 万願寺トウガラシ ・ 甘長トウガラシ ・ コマツナ ・ ハクサイのぬき菜 	<ul style="list-style-type: none"> ・ サトイモ ・ カキ ・ 本ユズ ・ キウイフルーツ ・ たまご ・ お米
	<ul style="list-style-type: none"> ・ ダイコン ・ キュウリ ・ ピーマン ・ 万願寺トウガラシ ・ 甘長トウガラシ ・ コマツナ ・ ハクサイのぬき菜 	<ul style="list-style-type: none"> ・ サトイモ ・ カキ ・ 本ユズ ・ キウイフルーツ ・ たまご ・ お米 		
予算等	—			
その他		—		

昨年度の取り組み

実施概要	実施日時	平成 28 年 11 月 12 日
	実施場所	明治大学黒川農場
	参加者数	8 人(地元農業者 5 人、都市農業振興センター農地課職員 3 人)
実施状況 (写真等)	<p>平成 28 年 11 月 12 日開催された明治大学黒川農場収穫祭にて、「農家さんの黒川産農産物の直売所」として、地元農業者による来場者への直接販売した。</p> <p>収穫祭来場者 1,761 人 (前年度 1,122 人) 前年比 157%</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>■農産物の種類（平成 28 年度：13 品目 300 点以上）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダイコン ・キュウリ ・ピーマン ・万願寺トウガラシ ・甘長トウガラシ ・コマツナ ・ハクサイのぬき菜 ・サトイモ ・カキ ・本ユズ ・キウイフルーツ ・たまご ・お米 	
主催者や参加者の声 (主な意見、感想)	<ul style="list-style-type: none"> ・9月の長雨の影響で収穫物が少なく、荷を集めるのに苦労した。 ・部会員を中心とした農業者の協力により、何とか直売を行うことが出来た ・販売用テント横まで軽トラックを入れることができ、荷の管理がしやすかった。 ・収穫祭来場者向けに場内放送を利用した広報をしてほしい。 	
評価と今後の進め方 等（専門部会での検討事項）	<ul style="list-style-type: none"> ・今回で 2 回目の参加。今後も継続して参加することで、黒川産の新鮮な農産物を P R し、販売促進につなげる。 	
その他		